

# 会 議 要 旨

- 1 会議名 平成20年度 第3回 認知症対策専門委員会
- 2 議 題
  - ・認知症実態調査について
- 3 報告事項
  - ・認知症啓発月間の取り組み結果について
- 4 開催日時 平成20年11月20日(木) 18:00～19:30
- 5 開催場所 北九州市役所 91会議室
- 6 出席者
  - (1) 委員(50音順)〔6名〕  
井田委員長、高田委員、田中委員、中村委員、村上委員、吉田委員
  - (2) 事務局(保健福祉局)〔6名〕  
高齢者支援課長、在宅高齢者支援係長、認知症対策担当係長、  
地域医療課長、精神保健福祉センター所長
- 7 会議経過(議事・発言要旨)

## 議題

- ・認知症実態調査について  
これまでの委員会での意見をもとに作成した調査票案について説明。

### 主な説明内容

前回の委員会での意見を受け、ものわすれ外来受診患者調査を追加した。内容は、ものわすれ外来の受診患者の初診からの流れ(どのような診断を受け、どのような治療やサービスに結びついていったのかなど)を把握するための調査とする予定。

事前に配布していた調査票案について概要を説明。

### 発言要旨

認知症の人には合併症のある人も多い。合併症について聞く設問を入れてはどうか。

訪問診療の有無についてなど、判断が難しく答えづらい設問や、症状についてなど、一般の市民に聞くには言葉が難しい設問がある。わかりやすいように改善して欲しい。

MCIの対応について聞く設問に「自院で経過をみる」の項目を付け加えてはどうか。

### (事務局回答)

今回の意見をふまえて調査票を修正する。修正後の確認は正副委員長に一任とさせて欲しい。

委員了承

## 報告事項

- ・ 認知症啓発月間の取り組み結果について

### 主な報告内容

- ・ 街頭啓発について

北九州市高齢者福祉事業協会、北九州ブロック介護老人保健施設協会、老いを支える北九州家族の会、北九州市社会福祉協議会、認知症・草の根ネットワークなどの団体から、市職員も含め、61名の参加があった(昨年度約50名)

配布部数も昨年度より1,000部多い2,000部を配布した。また、テレビのニュース取材があるなど、効果的なPRができた。

- ・ 記念講演会について

757名の参加があり、どのプログラムも好評を得た。アンケート結果も非常に良かったという意見が大多数であった。

### 発言要旨

街頭啓発については、ぜひ医師にも参加してもらいたい。白衣で医師が街頭に立てば、効果が大きいと思う。

記念講演会の参加者を見ると高齢者が多い。若い人たちにも、自分のこととしてとらえ、参加してもらえるような工夫が必要である。

講演内容は良かったが、講演を聞いて感動した、で終わっては意味が無い。アンケート結果等を活かしながら、それを市民に返していくことが大切である。